

(別紙3)

インフルエンザ予防接種を受けられる方へ

2016.9 作成

予防接種の前に必ずお読みください。

〔 予防接種の目的・効果 〕

予防接種の目的は、主に重症化予防で、インフルエンザにかかりにくくなる、あるいは、かかっても症状の重症化を抑えることができ合併症や死亡などの危険性を抑えるものです。

特に乳幼児や基礎疾患を有する方（ 気管支喘息等の呼吸器疾患、慢性心不全・先天性心疾患等の循環器疾患、糖尿病、腎不全、免疫不全症〔免疫抑制剤による免疫低下も含む〕など）のほか、**65歳以上**の方は、インフルエンザが重症化しやすいので、かかりつけの医師とよく相談のうえ、接種を受け、予防しておくほうが望ましいとされています。

〔 予防接種を受けることが出来ない・接種の際に医師とよく相談をしなければならない人 〕

1. 明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にショック、アナフィラキシーを起こした人、または鶏卵・鶏肉・その他鶏由来の物・他の医薬品に対してアレルギー症状が出たことのある人は、接種前にその旨を医師に伝えて判断を仰いでください。
4. そのほか、医師が予防接種を受けることが不適切な状態と判断した人
5. 妊娠されている方は、現在通院中の産婦人科での接種をお願いいたします。

〔 副反応：予防接種後に見られる種々の身体的反応や疾病のことです。〕

1. 重大な副反応としてショック、アナフィラキシー（蕁麻疹・呼吸困難・血管浮腫など）があらわれることがあるので、接種後に異常が認められた場合は、最寄りの医療機関でご相談ください。
2. 全身症状：発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、**咳嗽、動悸**などを認めることがありますが、通常、2～3日中に消失します。
3. 局所症状：発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感、**小水疱**などを認めることがありますが、通常、2～3日中に消失します。なお、**蜂巣炎**に至った症例の報告があります。
4. 神経系障害：顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、**失神・血管迷走神経反応、しびれ感**があらわれることがあります。

※〔インフルエンザ予防接種後の注意〕と〔予防接種の効果と持続期間〕は、裏に表記。

[インフルエンザ予防接種後の注意]

1. 接種後の30分間は、急な副反応が起きることがあります。
局所の異常反応や体調の変化がないか様子を見てください。
万一、接種した部位の異常な反応や体調の変化、さらに高熱やけいれんなど症状が出た場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
※健康被害（入院が必要な程度の疾病や障害など）が生じた場合については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人・医薬品医療機器総合機構法にもとづいて救済手続きを行うこととなります。くわしくは当協会または最寄りの医療機関にお問い合わせください。
2. 接種部位は、清潔に保ち、軽くさすってください。
当日の入浴は、急な反応の可能性がある注射後1時間を経過し、熱などがなければ差し支えありません。接種部位をもんだり・こすことはやめましょう。
3. 接種当日は、飲酒や激しいスポーツは避けてください。
(それ自体で体調の変化を来すおそれがあります。)
4. この予防接種後、1週間以上間隔を空ければ次の別の予防接種を受ける事が出来ます。
5. 抜歯や手術などで緊急性のないものは、予防接種後1カ月間は原則として避けてください。

[予防接種の効果と持続期間]

1. 予防接種の効果が現れるまでには2週間程度かかります。
2. 予防接種の効果が持続するのは最長で5カ月とされています。

**接種後 30 分は重大な副反応を起こす可能性があり、
体調の観察が必要です。**

そのため、一人にならないようお願いします。